

# AOB Seminar

講演者名: 久保田 達矢 博士

所 属: 防災科学技術研究所

開催日時: 2019 年 3 月 29 日(金) 10:00-11:30

場 所: センター新 A 棟 2F 会議室(205)

講演題目&要旨:

**海底水圧計記録の活用:**

**沈み込み帯の地震発生メカニズム・沈み込みテクトニクス理解に向けて**

沈み込み帯におけるテクトニクスや地震発生のメカニズムを理解するには、沖合の海底下で発生する地震・地殻変動などの物理現象を詳細に観測し、それらを解析し、現象の物理的プロセスを抽出することが重要である。しかし、これまで多く用いられてきた陸上の観測記録では沖合の震源域から遠く離れているため S/N の制約上詳細に観測・解析することが困難であることが少なくなかった。この問題を解決するため、これまで多くの海底観測機器が開発・活用されてきた。そのうちの一つである水圧計は、これまで津波や地殻変動の観測に使用されてきた。また、近年、地震動に伴う動圧変動成分も研究が進みつつあり、非常に広い時間帯域で沈み込み帯における物理現象に伴うシグナルを観測することが可能である。さらに、近年日本近海では S-net や DONET といった沖合の稠密な水圧観測ネットワークが展開されつつあり、水圧計の記録は今後さらに活用されるようになると期待される。これらの背景を踏まえ、水圧計の記録を活用することにより可能となる地震・地殻変動現象の詳細な観測・解析事例を、発表者のこれまでの研究を例として取り上げつつ紹介する。